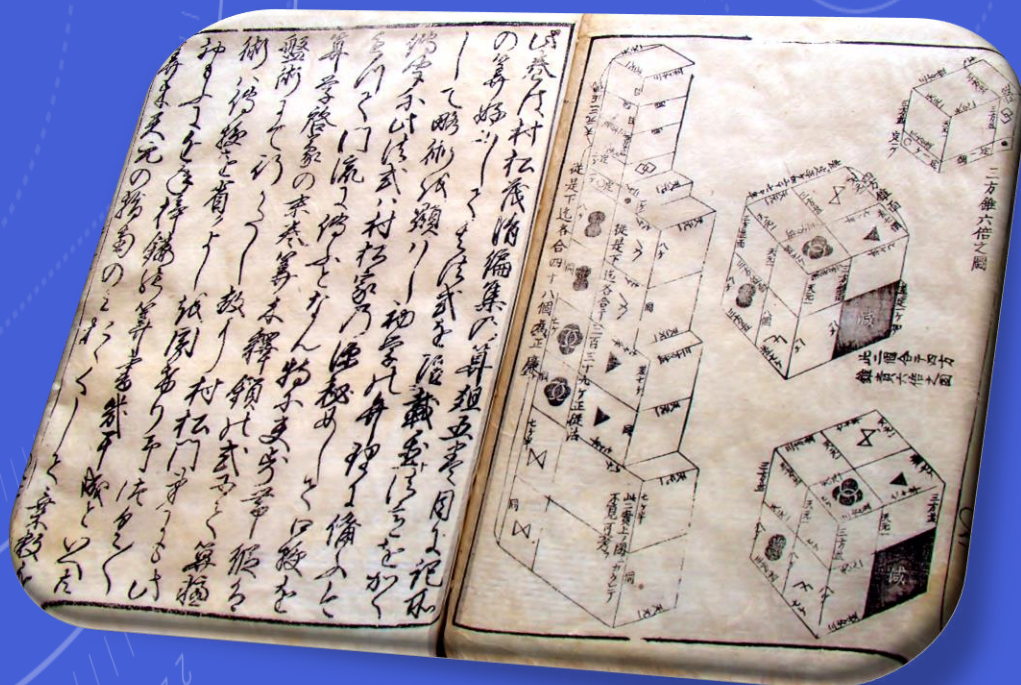


小山高専図書情報センター蔵書展 和算貴重書特別展示会

～これが江戸の数学～



2014年11月1日(土)～2日(日)工陵祭期間中

開館時間 9時～16時30分

場所:管理棟1階インフォメーションルーム

特別講演「松崎利雄先生と和算」

小林龍彦氏(前橋工科大学名誉教授)

1日(土) 13:00～14:30

図書館棟1階視聴覚室

入場無料

お問い合わせ先:総務課図書情報係

電話:0285(20)2117

特別講演会～松崎利雄先生と和算～

講演者 小林 龍彦 氏

2014年 11月1日(土) 13:00～14:30

場所: 図書館棟1階視聴覚室

小山高専名誉教授であった松崎利雄先生は和算研究の大家でもありました。松崎先生が生涯を賭して研究した和算と先生の業績を紹介しながら、先生が何を今に伝えたかったかを考えてみたいと思います。

・・・小林龍彦氏プロフィール・・・

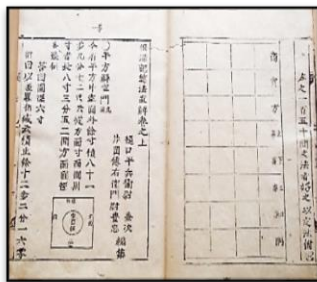
前橋工科大学名誉教授

中国内モンゴル師範大学客座教授

四日市大学関孝和数学研究所研究員

デジタル資料公開

蔵書のなかでも特に貴重と言われる資料をデジタル化し公開いたします。

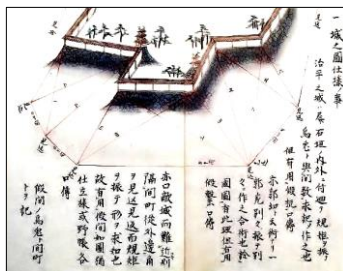


『根源記算法直解』

『根源記算法直解』(上・中・下) 樋口兼次・片岡豊忠著
寛文9年(1669)、佐藤正興の『算法根源記』に載る「好み」(遺題)
150問の解答集です。直解は「ちぎげ」と読みます。跋文(ばつぶん
-後書き)を含む上巻・中巻・下巻の三巻揃いはめったにない貴重本です。

(上巻)

見開き右頁は算盤の図です。商は答、実は定数項、方は一次の項、上廉は二次の項を表します。この盤上に算木を置き、方程式を解きました。



『町間秘傳書』 目録解

『図法三部集』(写本)

1. 図法三部集 全
2. 町間秘傳書 目録解
3. 町間秘傳書 用具

『図法三部集 全』の奥付に、貞享3年(1686)に東奥州測量の体験を踏まえて書かれたことが記されています。『図法三部集全』では原理的な説明が、『町間秘傳書 目録解』では実際の測量の仕方が、『町間秘傳書 用具』では測量用具の説明がなされています。写本成立の時期は不明ですが、丁寧な書体や見やすく彩色された図の調和が絶妙で、思わず魅入ってしまう美本です。



『町間秘傳書』 用具



貴重書展 (インフォメーションルーム)

江戸時代、数学書のベストセラーといわれた『塵劫記』の他に、算術書から測量に関する書まで13点の貴重書を公開いたします。

